

2022年度 個人研究実績・成果報告書

2023年 3月 31日

所属	基盤教育機構	職名	教授	氏名	笹谷秀光
研究課題	SDGs活用によるCSVの進化と新たな競争戦略に関する事例研究と企業・自治体・大学のSDGs推進への具体的方策である「ESG/SDGsマトリックス」の精緻化と効果検証				
研究キーワード	SDGs、CSR、CSV、サステナビリティ、経営	当年度計画に対する達成度	1.目標を超える研究の進展・成果を達成した		
関連するSDGs項目	4.質の高い教育をみんなに	2.飢餓をゼロに	12.つくる責任 つかう責任	11.住み続けられるまちづくりを	

1. 研究成果の概要

日本政府では、全国務大臣を構成員とする持続可能な開発目標（SDGs）推進本部が設置され、政府は2017年から6回にわたり、「ジャパンSDGsアワード」を発表した。また、政府の「SDGsアクションプラン2023～SDGs達成に向け、未来を切り拓く～」(令和5年3月、SDGs推進本部)は、2022に続いて文章化され、2023年の日本がG7議長国であること及び国連での4年ごとのSDGs見直しが予定されることを念頭に「SDGsモデル」を加速し、SDGs実施方針の見直しに向けたステークホルダーの意見聴取を予定している。

重点は、(1)SDGsと連動した官民挙げた「Society 5.0」の推進、(2)SDGsを原動力とした地方創生、(3)SDGsの担い手である次世代・女性のエンパワーメントなどが示されている。関連予算もリスト化され、586項目、総額は約7兆円に上る。

2015年に国連サミットで採択されたSDGsは、現下の社会・環境課題を網羅的に提示した。これは、社会・環境課題に対処し持続可能な社会づくりを目指す、2030年に向けた目標であり、すでに折り返し点に来ている。また、SDGsの主要目標である、カーボン・ニュートラルの動きも加速している。

そこで、「主流化」するSDGsについて、企業・自治体・大学の事例分析を進め、関連学会等への投稿や研究発表で発信するとともに、国の関連事業への協力や多様なステークホルダーへのSDGs発信を行い、現下のSDGsの国民全体へのSDGsの最新状況についての波及の一翼を担う研究を行った。

2. 著書・論文・学会発表等（査読の有無及び海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載）

【論文（査読あり）】該当なし

【著書・論文（査読なし）】

論文：笹谷秀光「SDGs経営による脱炭素、DX時代のサバイバルー2030年に向けてのSDGs進捗分析を踏まえてー」東洋経済新報社『CSR総覧』（令和4年4月発行）に寄稿

書籍：笹谷秀光著『Q&A SDGs経営 増補改訂・最新版』刊行（日経BP日本経済新聞出版、令和4年10月26日発売）

論文：分担執筆、日本経営倫理学会（編集）『経営倫理入門：サステナビリティ経営をめざして』にて「第7章 ESG時代に主流化するSDGs—SDGs経営支援ツールの提唱—」を執筆（令和5年3月15日発売）

【学会発表等】

(1) 国、自治体での対応

・文部科学省、社会教育センターにて、令和4年度社会教育主事専門講座で講師「SDGsと社会教育」（令和4年11月10日）

・埼玉県主催、消費者志向経営シンポジウム（令和4年11月29日）にて、基調講演「持続可能な社会のためにできること」及びシンポジウムでのファシリテーター（パネリストは、大信 政一氏・パルシステム生活

協同組合連合会 代表理事 理事長、関藤竜也氏・株式会社クラダシ 代表取締役社長、室田善弘氏・株式会社ヤオコー管理本部参与兼会長秘書役、柿沼トミ子氏・埼玉県消費者団体連絡会代表幹事)

・秋田県主催「あきた SDGs アワード 2022 表彰式」(令和 5 年 1 月 30 日)にて、特別講演「企業・団体等における SDGs の更なる推進のために」

(2) 多様なステークホルダーへの SDGs の発信

・JA 岐阜にて講演「協同組合と SDGs」(令和 4 年 7 月 7 日「協同組合と SDGs を考える集い」)

・法曹大同会創立 110 周年記念における記念講演「現代社会における SDGs の重要性とビジネスの場で弁護士が果たしている役割」。テーマは、人権擁護の観点で果たしている役割、弁護士の業務(企業法務、法律相談、事件処理等)において、SDGs をどのように意識し、アドバイス等に生かしていくべきかなど。10 月 18 日、第一ホテル東京。法曹大同会は、東京弁護士会所属の弁護士で構成する団体で、司法制度・東京弁護士会の向上発展に寄与することを目的とし、会員の親睦や情報交換、弁護士会役員や司法研修所教官など法曹界における人材の供給源としての役割。

・一般社団法人 プレハブ建築協会主催、2022 年度 住宅産業 CS 大会での記念講演「SDGs から考える CS」(令和 4 年 10 月 21 日、TKP 新橋カンファレンスセンター)

・未来まちづくりフォーラム実行委員長としての活動(このフォーラムは内閣府、総務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省、全国知事会、全国市長会、全国町村会、一般社団法人 CSV 開発機構、一般社団法人全国地ビール醸造者協議会(JBA)、一般社団法人ソーシャルビジネス・ネットワーク、エコツェリア協会(一般社団法人大丸有環境共生型まちづくり推進協会)、一般社団法人チームまちづくり 8 府省の後援名義がある准公的なもの)、令和 5 年 2 月 14、15 日実施。笹谷が実行委員長としてキーノートトーク「日本 SDGs モデルの最前線ー混沌の時代、羅針盤 SDGs で協創力を発揮ー」及びパネルディスカッション(佐々木勝久・福井県鯖江市市長、芦川隆範氏・NTT コミュニケーションズ株式会社、釣流まゆみ氏・株式会社セブン&アイ・ホールディングス、泉谷由梨子氏・BuzzFeed Japan 株式会社)にてファシリテーター

・生涯教育「SDGs ユニバーシティ」(主催 SDGs 研究所、共催 国際連合大学、後援 渋谷区 経済産業省)にて SDGs ユニバーシティ校長として、各界の有識者と対談(令和 4 年 12 月 元 NHK 専務理事(株)井之上パブリックリレーションズ顧問 塚田裕之氏、令和 5 年 1 月 元内閣総理大臣補佐官、参議院議員 阿達雅志氏ほか 6 回実施)。

3. 主な経費

(1) 研究論文、発表準備のため、録音用機材等を購入した。

(2) 学会活動や幅広いステークホルダー対応等のため、関係学会の会費等を支払ったほか、専門的書籍、雑誌等を購入した。

4. その他の特筆すべき事項(表彰、研究資金の受入状況等)

・文部科学省、青少年の体験活動企業表彰審査委員

・消費者庁消費者志向経営優良事列表彰選考委員

(本文は 2 ページ以内にまとめること)